

令和 2 年度加東市市民意識調査結果について

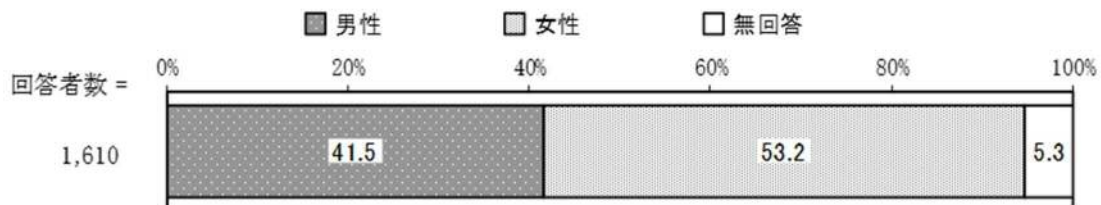
【調査概要】

調査対象	加東市在住の18歳以上の方、4,000人（無作為抽出）
調査期間	令和2年10月20日から令和2年11月4日
調査方法	郵送による配布・回収
回収状況	配布数 4,000通 有効回答数 1,610通 有効回答率 40.3%

【主な回答者属性】

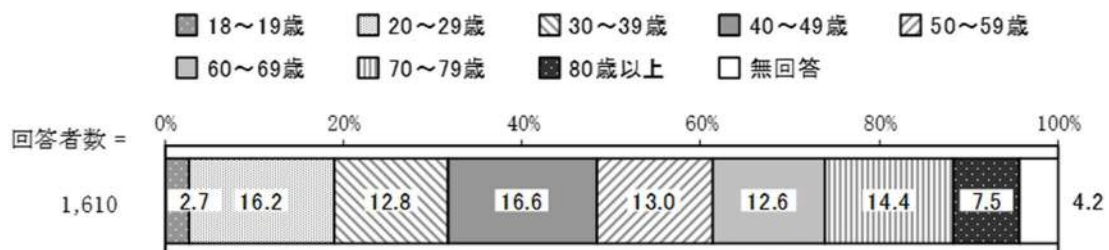
●性別

「男性」の割合が41.5%、「女性」の割合が53.2%となっている。



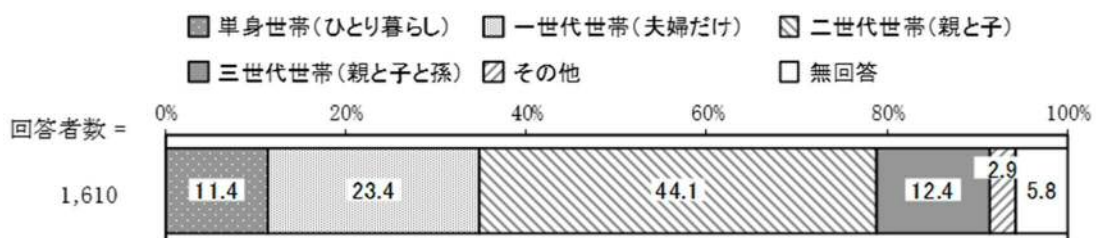
●年齢

「40～49歳」の割合が16.6%と最も高く、次いで「20～29歳」の割合が16.2%となっている。



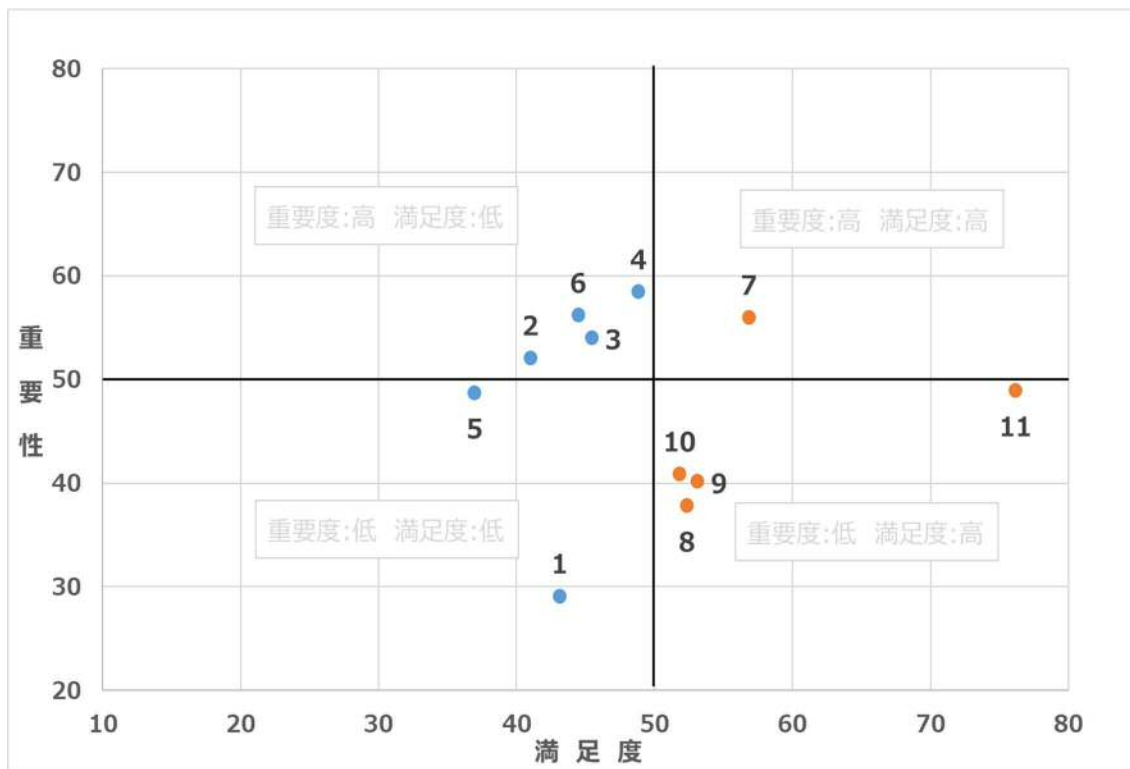
●家族構成

「二世世代世帯（親と子）」の割合が44.1%と最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦だけ）」の割合が23.4%となっている。



【教育分野の取組における重要性・満足度】

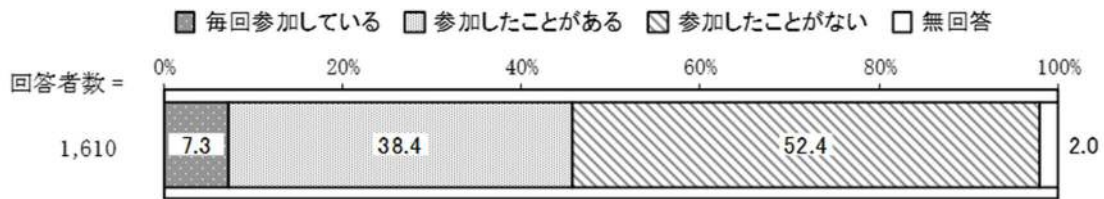
※教育分野の各取組における重要性（「重要である」「やや重要である」「気にはなる」「あまり気にならない」「気にならない」の5段階）及び満足度（「満足」「まあ満足」「普通」「やや不満」「不満」の5段階）の回答を点数化し、その偏差値をグラフに示しています。



No.	教育分野における市の取組
1	小中一貫教育の推進
2	確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成と社会への適応能力の向上
3	小中学校における人権・道徳・体験学習などの充実・心の教育の推進
4	健全な子どもを育てる取組・環境づくり
5	インクルーシブ教育の充実
6	幼児教育と保育サービス等の充実
7	学校教育環境の整備充実
8	芸術・文化に関する施策
9	生涯学習活動の充実
10	スポーツ活動の支援
11	図書館機能の充実

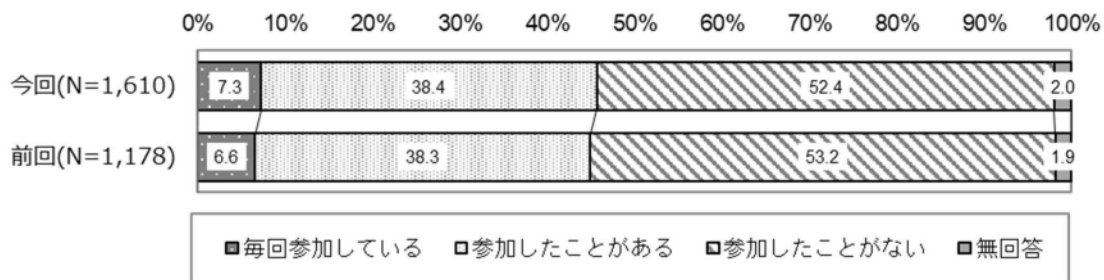
【オープンスクールなどの学校行事や学校でのボランティア活動への参加経験】

「毎回参加している」と「参加したことがある」を足した割合が45.7%となっている。



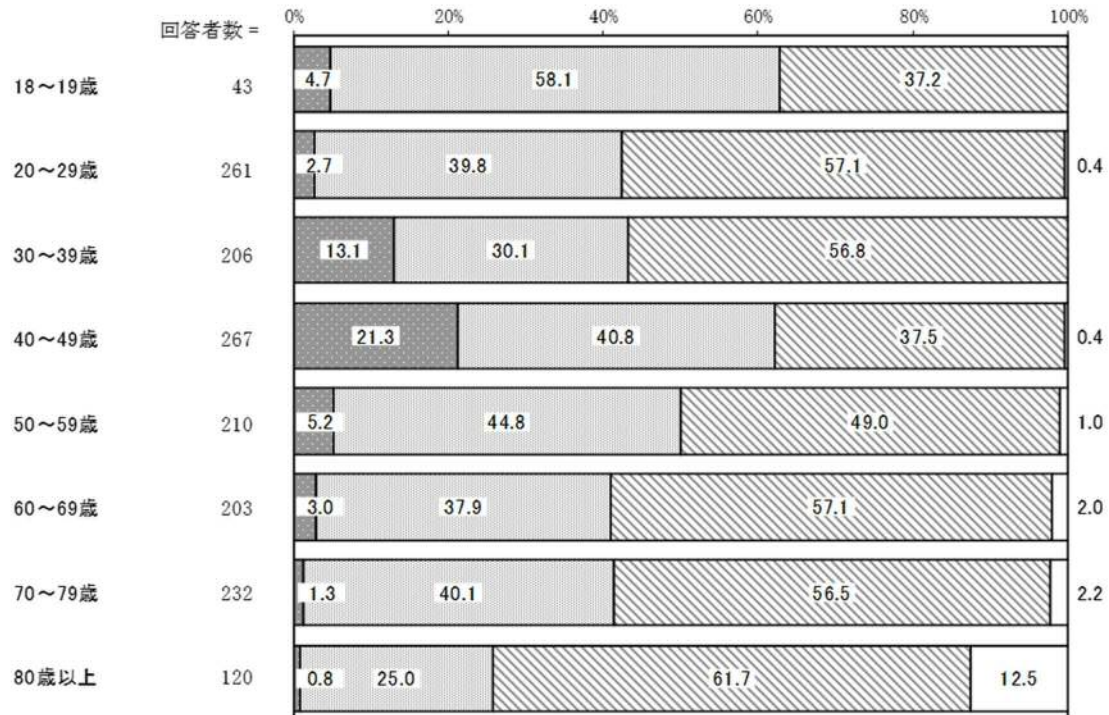
●前回（平成29年度実施）比較

同様の傾向となっている。



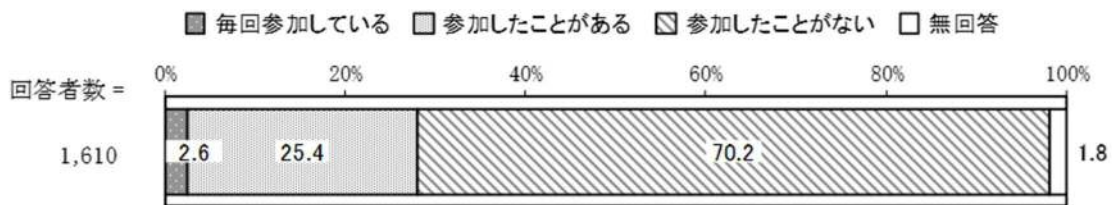
●年齢別

「毎回参加している」の割合は30～39歳と40～49歳が高く、「毎回参加している」と「参加したことがある」を足した割合は18～19歳と40～49歳の割合が高い。



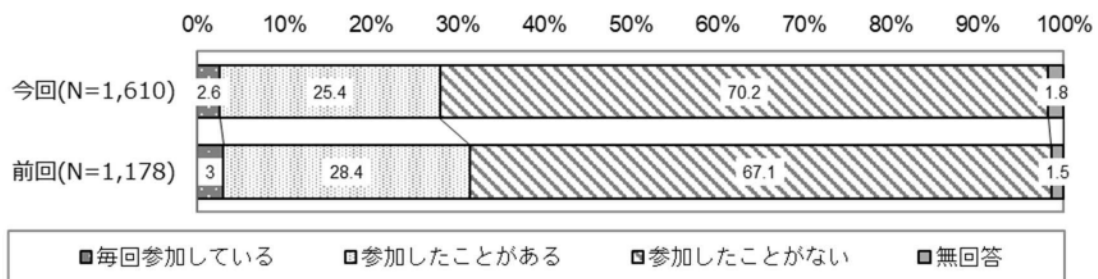
【青少年の補導活動や地域子ども見守り隊などの活動への参加経験】

「毎回参加している」と「参加したことがある」を足した割合が28%となっている。



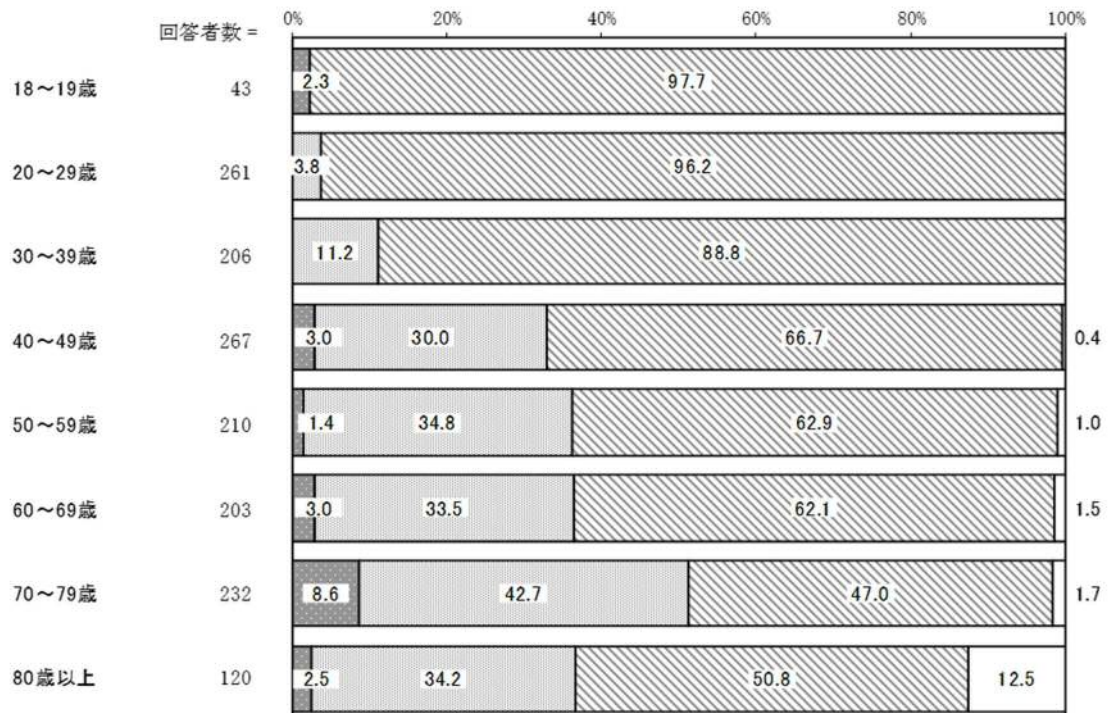
● 前回（平成29年度実施）比較

「参加したことがない」の割合が増えている。



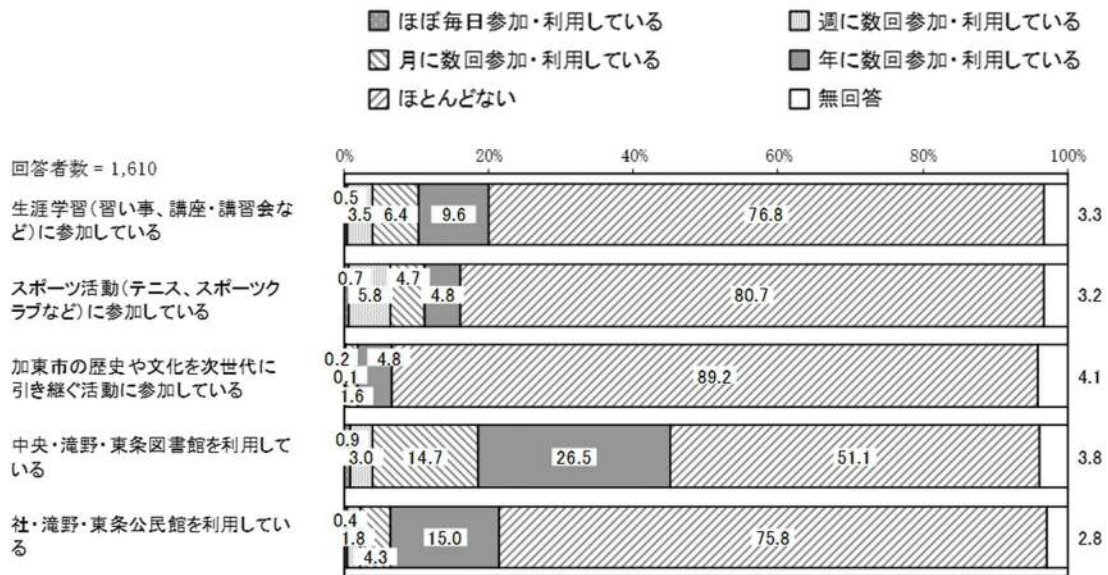
● 年齢別

「毎回参加している」の割合は70～79歳が高く、「毎回参加している」と「参加したことがある」を足した割合は40歳以上の年代が39歳以下の世代と比較して割合が高い。

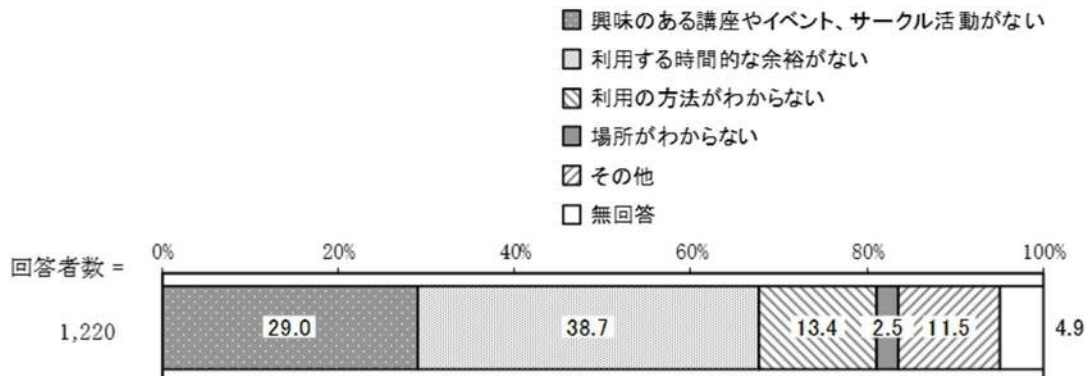


【日頃の行動や活動、社会教育施設の利用に関する設問】

『中央・滝野・東条図書館を利用している』で「年に数回参加・利用している」の割合が高くなっている。



●『社・滝野・東条公民館を利用している』の設問で「ほとんどない」と回答した人の理由



●『中央・滝野・東条図書館を利用している』の設問で「利用している」と回答した人の利用目的

